

各班ともホワイトボードを使って
展望作りのディスカッション

第5回 遊技産業

マネジメント・カレッジ



「業界の未来を担う人材・ユーザー」

広い視点で具体的アイデア競った

65人が11班に

遊技産業の新しいリーダー養成のため日遊協が主催する研修、「第5回遊技産業マネジメント・カレッジ」が、11月18、19の2日間、川崎市の川崎グランドホテルで人材育成委員会の主管で開かれた。今回の研修テーマは「業界の未来を担う人材・ユーザーの開拓」。遊技産業各業種の中堅管理職65人（31社）が参加した。業種別の内訳は、ホール43人（19社）、遊技機メーカー6人（5社）、販社4人（2社）、その他12人（5社）。

今回のマネジメント・カレッジの目的は、①業界の将来を拡大した視点で考える ②実現可能な具体的アイデアを企画する ③業種企業を越えてリアルな情報交換をする ④業界内での人脈形成を図る——となっている。

研鑽を深めて

第1日（11月18日）
午後1時に開校式が行われ、深谷友尋日遊協会長が「業界は今難しいところにいます。君たちはわ

れわれの産業のホープ、明日を担う大切な方たちです。過去4回のカレッジでは素晴らしい先輩方が誕生しています。諸君も先輩方に負けないように、この2日間、自分の人生を通して業界のことを考え、大切な人のことを思って研鑽を深め、期待に応えてください」と挨拶した。その後、11班（5〜6人構成）に分かれ、テーマに沿ってグループディスカッションに入った。

午後6時にディスカッションをいったん中断、夕食を兼ねた懇親会が開かれた。石橋保彦、山田久雄の2副会長、谷口久徳、知念安光、吹浦忠正の3理事、篠原弘志専務理事、伊東愼吾常務理事が研修生たちの懇談の輪に加わった。懇親会後の同9時からディスカッションが再開され、11時過ぎまで続けられた。

多い「女性注目」

第2日（19日）
午前中のグループディスカッションで、前日からの討議内容をまとめた。昼食後、プレゼンテーション大会が開かれた。各班は割り

深谷会長を中心に委員と参加者が勢ぞろい



当てられた5分間、模造紙やホワイトボードを使って企画案を発表した。市場規模が縮小している挽回策として、女性へのアプローチ

提案が目立った。外国人観光客、小学生、高校生とその親をターゲットにした提案もあった。審査は本部役員が行った。

篠原菊紀氏 講演

午後2時半、諏訪

東京理科大学教授 篠原菊紀氏が「脳から見た『ばちんこ・スロットの若年層取り込み』」と題して特別講演を行った。篠原氏は、①たばこ産業が手足を奪われていった轍をパチンコ・パチスロ産業が踏まないために②見てもらう工夫、体験してもらおう工夫③快感商売の基礎、ドーパミン神経を知ろう④脳のくせから見た台の選択と男女別のはまり時期⑤依存症予防の徹底で高貴な遊技に――な

討議に集中した分懇親会では食欲モリモリ



どについて語った。

活動に取り入れ

午後4時過ぎ、プレゼン大会の表彰式が行われ、金賞はI班（「パチカフェ」）、銀賞はA班（「プロジェクトNYK47」）が選ばれた。副賞の図書券が金賞班に各5000円、銀賞班に各3000円贈られた。庄司孝輝副会長が「おもしろい提案がいっぱいあり、日遊協活動の一部に入れたいと思いました。65人がタイトな日程の中



スライドを使って「脳とパチンコ」。篠原教授の講演は新鮮なおもしろさ

で真面目に研修を受けてくれ、意義のある2日間でした」と講評した。参加者全員に修了証書が授与され、閉校した。

会場入り口で広報委員会主催による「東日本大震災復興支援募金」の呼びかけが行われた。募金者へは「第1回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の絵手紙部門で最優秀賞、優秀賞を受けた3作品の絵はがき1セットが贈られた。浄財は被災地へのボランティア活動の資金に活用される。

第5回マネジメント・カレッジ班分け(2階)

班	名前	企業名
A	江口 信行	(株)九州エース電研
	鈴木 大輔	(株)ニラク
	米田 寿昭	(株)玉屋
	藤本 篤史	(株)マルハン
	利根川純教	ディーナネットワーク(株)
	石橋 尚也	ジービーエム(株)
B	庄司 眞	ピーアークホールディングス(株)
	山田 篤	(株)九州エース電研
	須崎 英作	(株)ニラク
	佐藤 耕平	(株)千歳観光
	仲 誠司	京楽産業。(株)
	土屋 一成	グローリナスカ(株)
C	梅木 直人	(株)サンパワー
	井上 崇	(株)アサヒディード
	森山 友広	永伸商事(株)
	山田 健士	フシミコーポレーション
	山本 弘	(株)オリンピア
	宮崎 昭雄	ジャパンネットワークシステム(株)
D	田中 政生	(株)ピクトリア観光
	豊田 雄次	(株)アサヒディード
	谷部 英次	サンキョー(株)
	井之上俊平	(株)ユーコー
	山口 浩	ジャパンネットワークシステム(株)
	奥村 俊行	(株)平和
E	原田 雅章	(株)ニラク
	飯塚 武彦	(株)マルハン
	山下 大悟	(株)ユーコー
	時政眞二郎	永伸商事(株)
	山本 茂裕	(株)高尾
	安藤 秀明	グローリナスカ(株)
F	森下 哲夫	山佐産業(株)
	月岡 英晃	フシミコーポレーション(株)
	栗原 光雄	(株)ニラク
	津口 大輔	(株)ブローバ
	鞍留 宏憲	(株)北電子
	小木曾正道	グローリー(株)
G	山下 直起	山佐産業(株)
	柴田 憲一	(株)玉屋
	越智 由臣	(株)ブローバ
	尾花 道德	(株)マルハン
	馬場 徹	ジービーエム(株)
	五反田秀治	グローリー(株)
H	末松 崇洋	京楽産業。(株)
	山脇 修	三宝商事(株)
	作間 俊介	(株)金馬車
	今泉 尚	(株)ブローバ
	藪田 岳	フシミコーポレーション(株)
	尾崎 龍二	グローリー(株)
I	笹川 慎一	(株)金馬車
	白戸伸一郎	サンキョー(株)
	潮田 明彦	(株)安田屋
	田中 浩志	(株)千歳観光
	佐藤 祐一	ディーナネットワーク(株)
	稲田 英晃	(株)日進
J	中野 洋介	(株)安田屋
	榊原 学	サンキョー(株)
	又木 貞光	プライムコーポレーション(株)
	下田健二郎	(株)マルハン
	平林 孝文	(株)サミーデザイン
	藤田 朋之	グローリナスカ(株)
K	山崎 博孝	三宝商事(株)
	加藤由祐司	(株)ピクトリア観光
	溝口 俊明	フシミコーポレーション
	岡部 亨	ディーナネットワーク(株)
	富澤 正彦	(株)日進

プレゼン受賞班の発表要旨

試打が楽しめる
スペースを提供を

金賞ⅡI班
「パチカフェ」

①目的 新規ユーザーの獲得とス
リープユーザーの覚醒 ②具体案
駅前周辺など人の集まる場所にパ
チンコ・パチスロの試打が目的の
シヨールームのスペース(カフェ)
をつくる。遊技機を含む設備は、
協賛メーカーがPRしたい新台や
テストしたい試作機等を展示する。
立ち寄ったスリープユーザーには
遊技の楽しみを再認識してもらい、
初心者にはスタッフが楽しさや遊
び方をレクチャーする。スタッフ
はホール、メーカー等の協賛企業

1位になったI班は「パチカフェ」を発表した



「NYK47」と銘打ってプレゼンしたA班

が交代で出し合い、企業宣伝も兼
ねるようにする。

「輝く女性」を選抜
魅力の見える化へ

銀賞ⅡA班
「NYK47」

①目的 若年層女性に対して業界
の負のイメージをなくし、業界の

人材とファンを同時に獲得 ②具
体案 日遊協加盟企業で働く「輝
く女性」を選抜し、「NYK47」チ
ームを結成する。チームは日遊協
の各種イベントに参加して業界の
イメージアップを図るとともに女
性誌、web等に積極的に露出し、
業界で働く女性の魅力を「見える
化」する。1年目は業界内で盛り
上げ、2年目はユーザー間に広げ、

3年目に社会全体にアピールして、
若年層女性を業界の人材として、
ユーザーとしてひきつける。

その他の班のタイトル

- B班** 「Pachinko
グローバルスタンダード」
- C班** 「思い出がいっぱい
大人の階段登る」
- D班** 「「パチンコの華」
オーディション」
- E班** 「健全化し続けている
業界を伝えよう!」
- F班** 「連れパチ
〜私をホールに連れてって〜」
- G班** 「若い女性獲得を目指した
業界のイメージアップ施策」
- H班** 「あれ? おまえ明日ヒマ?
プロジェクト」
- J班** 「全国クリーン活動」
- K班** 「ばちんこ専門学校をつくらう」

九州支部ボランティア隊第2陣

逆に教えられた力強さ 隊員同士の連帯深まる

▽日時 11月1日～11月4日

▽場所 宮城県石巻市牡鹿谷川(やがわ)浜地区及び前網浜地区

▽隊員 隊長・坂山幸洋(株山口商事) 副隊長・奥野宏(三宝商事) 有吉賢児、田中一馬(株山口商事) 伊東光晴、木下敬太、松本博数、桑山里恵、田代洋平、吉原洋(株ユコー) 村川了、川内錠二、船津彰文、原田昇平(三宝商事) 早川広太、長谷謙介、竹本真吾(大劇) 古川稔、水永忠(株西の丸) 有川勝紀、松本幸一郎(ジーピーエム) 北島俊和(支部事務所)

▽作業 ホヤ貝の種原盤作り、水漏れ防止土のう作り、汚泥の中からの力キ殻の抽出



作業現場に22人の大部隊が勢ぞろい

事前に有川裕之支部役員が現地実査し、関係者等連絡済みで行程がスムーズに進み、第1陣経験者が4人おり、経験を生かし効率的に活動できました。

マイクローバス1台で22人の多人数を現地に運び、高齢者の多い漁民の皆さんから「人手不足の中で若手の皆さんもたくさん来てくれて」と喜ばれました。浜の皆さんは、いろいろな話の中で「3年後にはきちんと復興させる！今度

東京都・関東支部ボランティア隊第5陣

1日7人で水田1枚 復興までの道 気が遠くなる

▽日時 11月9日～11月11日

▽場所 岩手県陸前高田市

▽隊員 隊長・岩切敏晃、碓田佐紀子(株フロテラス) 副隊長・神尾宏(株エルイーテック) 河野辰弥(株サンパワー) 渡辺慎也(株ヒアーク千葉) 青山忠志、山田幸英(日拓ホーム) 株

▽作業 農地・農水路の瓦礫撤去

は観光で来てください」と力強く語っていました。家族、知人、住居を失っても「必ず皆で復興させる」との気持ちと行動力は、逆に私たちに家庭・地域での連帯また、社会人としてのありかたを改めて気付かせてくれました。

2日間の作業終了後は仙台市の宿舎に戻り九州支部役員から慰労の食事を開催していただき、支部会員相互の連帯の絆も大いに強まりました。また3日は、東北支部高橋事務所長が祭日にもかかわらず装備品受領のため私たちに対応していただき感謝申し上げます。(坂山幸洋)

陸前高田市は、死者・不明者が市の人口の8.5%に上る激甚被災地区。市街地も基礎のコンクリを残すだけで、全て津波に飲み込まれてしまいました。われわれの活動は、沿岸部の小友町の農地・農水路のガレキの撤去です。小友町は海に面し、津波にのまれた地区のため、崩壊した家屋の瓦、流木、

資材、ゴミが農地に流れ、埋没、



散乱しています。この日の作業は、半農半漁で営まれている鈴木はるおさんからの依頼でした。鈴木さんは、漁港の再建に精力的に動かれていたが、多くの被災者は、あまりにも大きな喪失感から、「ボランティアに依頼をすること」もままならない状況とされます。

2日目も、農地のガレキ撤去。7人が作業して、やっと1枚の田んぼがきれいになるといふあたりまでです。水田を復活させるためには、ガレキを撤去して、塩を含んだ土壌の入れ替えをしたあと、最初からの農作業が待っています。この荒れ果てた地に立ったとき、稲穂が実る姿を想像できる人がいるでしょうか。鈴木さんが、この地で農業を再開させるまでは、まだまだ多くの「他力」を必要としていることを痛切に感じました。(岩切敏晃)

瓦礫撤去は、そう簡単には進まない作業だった

全日遊連が節電9月分を発表

東電管内は34.9%減 東北でも28.7%減

全日本遊技事業協同組合連合会（全日遊連）は11月8日、東京電力および東北電力管内ホールの節電について、電力会社の請求書に基づいた最大需要電力（kW）の9月の調査結果を発表した。東京電力管内では対象3656ホールのうち1718ホール（回答率47.0%）が回答し、そのうち有効ホールは1615ホールだった。その結果、最大需要電力は対前年同月比80.1%となり、19.9%削減をマークした。輪番休業（月3回以上・15%減）と合わせると34.9%減になり、目標の「25%以上」を大幅に上回る実績となった。また電力使用量（kWh）でも、対前年9月比で71.7%、28.3%の削減を記録した。

東北電力管内も対象1068ホールのうち回答675ホール、有効662ホールで、最大需要電力が対前年同月比81.3%を示し、18.7%の削減となった。輪番休業（月2回以上・10%）とあわせて28.7%で、目標の20%をクリアした。電力使用料でも対前年73.8%、26.2%減となった。

休業、閉店前倒しなど 冬季節電で大遊連決議

今冬、関西、九州で深刻な電力不足が予想されることを受け、大阪府遊技業組合連合会（大遊連）は11月22日の定例理事会で、月1回の休業や閉店時間の前倒しなど盛り込んだ「大遊協傘下全ホールにおける電力削減対策について」と題する決議を行った。

同組合（大遊協）傘下全ホールで12月1日から来年3月末までの間、月に1回以上休業することに加え、12月19日から3月23日までの間、①毎日の閉店時間を30分短縮し、午後10時30分までに閉店、②昼間のネオン・看板などの消灯、閉店30分前の消灯に努める、③エアコン設定温度を通常より概ね2

度下げる、④屋外灯や不要と思われる場所の滅灯または消灯に努める——となっている。

さらに大遊協各支部は、休業を実施しなかったホールについては理事長名の協力依頼を出し、4月の理事会で公表するとしている。

政府は関西電力管内で昨冬比10%以上、九州電力管内で同5%以上の節電を要請している。

逼迫警報への対応

全日遊連が呼びかけ

パチンコ・パチスロ産業21世紀会（代表・原田實全日遊連理事長）は11月25日、構成の14団体に対し、「『電力逼迫警報』への対応について」と題する依頼文を送り、警報が出た際の節電協力を要請した。電力逼迫警報に関しては、政府の電力需給に関する検討会合で、逼迫が予想される場合政府が発令することを決めており、これを受けて警察庁が24日、21世紀会宛に協力要請をしていた。

冬季省エネで警察庁が文書

警察庁は11月15日、パチンコ・パチスロ産業21世紀会（代表・原田實全日遊連理事長）に宛てて保安課

長名で、「冬季の省エネルギー対策への協力依頼について」と題する要旨次のような文書を送付した。

「11月1日、省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議で冬季の省エネ対策の申し合わせがあり、さらに同日、エネルギー・環境会議（第4回）／電力需給に関する検討会合（第3回）合同会合で今冬の電力需給対策に関する決定がなされた。国・地方公共団体・事業者・国民が一体となった省エネの取組み、とくに今般の電力事情による節電対策の推進が強く求められている。このことを踏まえて、節電対策を含む冬季のエネルギー対策推進への一層の協

力と、傘下団体等に対しての周知をお願いする」。

12月の行事予定

2日 (金)	15:30~17:30	広報委員会
7日 (水)	16:00~	貯玉理事会 (グランドアーク半蔵門)
8日 (木)	13:00~15:00	遊技機健全化委員会
	15:30~17:30	遊技機開発委員会
13日 (火)	15:30~17:30	経営改革委員会
16日 (金)	13:30~	人材育成フォーラム
19日 (月)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験 (東京・ラベルオーラム)
	13:30~14:30	不正対策室会議
21日 (水)	17:00~	セキュリティー対策委員会
28日 (水)		仕事納め

DECEMBER